

『君は』 作：ポチ子

『君は』 作…ポチ子

君は優しいだけだ。

それ以外、何もない。

君の話はつまらないし、

運動も出来ないし、

顔もかっこよくない。

人は優しさを優しさで返してくれない。

僕を撫でながら泣いていた君を見て分かった。

優しさは長所じゃないんだね。

知れてよかったよ。

『君は』 作：ポチ子

でもね、

君の膝の上は気持ちいいんだ。

僕は知っているよ。

君の手のひらは大きい。

君の手のひらは温かい。

それが君の優しさなら、

僕は君の優しさが好き。

誰も認めてくれなくなったらって、

僕は君の優しさが好きだ。

— 終わり —